

# 女性ならではの起業のカタチ

「好きなことを仕事にしてみたい」「自分の力を生かして人を喜ばせたい」。そんな「やってみたい」を実現するための起業。市では「川西女性起業塾」など、女性が働き方の選択肢を広げられるように、取り組みが始まっています。女性だからできる起業とはどんなものなのか。「川西女性起業塾」塾長の永里真由美さんと、市内の先輩起業家の2人に話を聞きました。



㈱マーレ代表取締役／「川西女性起業塾」塾長

永里 真由美さん

「ビジネスを始めた」と考えている女性は増えていますが、セミナーなどをしていても、起業に積極的な女性が多いと感じています。」

自分の夢を実現するための起業にも、女性ならではの形があるそうです。「出産や子育てなど、女性のライフスタイルは、その時々で大きく変化していきます。例えば、子育て中の専業主婦が起業しようとした場合、時間の余裕もない中で、始めから高収入を得ようとするのはリスクがありますし、難しいですよ。自分の生活様式に合わせた、自分サイズの起業から始めることをお薦めしています。オフィスを持つとコストがかかるので、自宅を拠点に仕事をする人も多いいんですよ。月収は少なくても、生活とのバランスを取

りながら好きな仕事をして、徐々にビジネスの基盤を作っていくことが大切なんです」と永里さんは話します。「男性は勤めていた会社の人脈や経験を基に、起業する傾向があります。女性でも同じケースはありますが、専業主婦の場合は、主婦としての経験や、地域の中で何ができるかを考えて、自分の強みを洗い出していくことが多いんです。生活の中から「あったらいいな」を見つけて、仕事に変えていく傾向が見られますね。無理に働きに出るよりも、生活に合わせて仕事ができる。それが女性ならではの起業といえるのではないのでしょうか」

9月から始まった「川西女性起業塾」では、永里さんの他、先輩起業家たちが受講者をサポートしています。

「起業塾を行政主体で開催するのは画期的だと思います。先輩起業家の話を聞ける貴重な機会ですし、起業への第一歩として活用してほしいですね。これからも、起業したいという女性の夢をかなえるために、サポートを続けていきたいと思っています」

## Interview

### 起業の固定観念がなくなりました

川西女性起業塾受講者 乾 美由紀さん

「マタニティスペース Dear Baby」という子育てサークルを立ち上げ、ベビーマッサージやマタニティヨガなどの活動をしています。

今まで、起業をするんだったら、稼がなければならぬという固定観念があったんです。

でも、起業塾で自分サイズの起業でいいんだと聞いて、楽になりましたね。さらに、今の活動を継続するためにも、起業が必要なのではと思い始めました。

起業塾で先輩起業家の話を聞いて、ステップアップしていきたいと思っています。



## 特集

# もう一度働いてみようかな

結婚、出産、育児、介護——それぞれの事情で退職。「もう一度働きたいな」と思っても、希望通りの仕事をするのはなかなか難しいものです。大都市近郊のベッドタウンとして、発展してきた川西市。30代で就業していない女性の割合が、全国と比べても高くなっています。そこで市では、「川西女性起業塾」や「在宅就業促進支援事業」など、多様な働き方を応援する取り組みを展開。一人ひとりに合わせた働き方へ。今、動き出しました。

問合せ 産業振興課 ☎(740) 1162





センパイ起業家の“ホンネ”②

# 「あればいいな」を形にしたかったんです

「マタニティサロン コモド」 片山 優子 さん  
ホームページ <http://www.comodo117.com/>

**「起業」**のきっかけは、自分自身の経験から。マタニティ期の女性に施術をしてくれる整体院ってほとんどないんですよね。でも、地域のママさんたちを少しでも手助けしたくて、「こんなサロンがあればいいな」を形にしました。

女性専用の整体院「マタニティサロン コモド」を営む片山優子さん。市内で起業して6年になります。「口コミで評判が広がり、市内だけでなく市外からもお客さんが来てくれます。起業して2年を過ぎたころ、気持ちの変化がありました。きっかけは、起業家の仲間に出会えたこと。同じ悩みを共有すること、より前向きに仕事を

## 人生のできごと

The Outline of Her Story

- 38歳** 移転に向け、空き店舗を探していたところ、商工会から補助金の話が聞く。審査後、交付が決定。今年、新店舗をオープン。
- 36歳** 起業家向けのセミナーへの参加をきっかけに商工会に入会。
- 34歳** 起業家の仲間と出会う。仕事に対する考え方が変わる。
- 33歳** 起業。自宅の一室でマタニティ整体を始める。
- 31歳** 弟が経営する整骨院で働き始める。
- 30歳** 出産を機に、民間企業を退職。

一日のタイムスケジュール

5:30	起床。一人の時間を有効に活用
7:30	子どもを小学校へ送り出す
8:00	出社。開店準備をする
9:00	開店
18:00	閉店
19:00	帰宅。家族で夕食
21:00	家事を終わらせ、パソコン仕事
24:00	就寝



でもすぐにやめてしまう人もいます。自分の会社を持つのは、簡単なことではないんですよね。そのため、起業の現実や困難な部分も包み隠さずお伝えできればと思っています。

今年度は女性限定の支援セミナーも開催します(※)。また、起業にあたっては、「マタニティサロン コモド」の片山さんのように補助金などの申請ができることもありますので、一度相談してください。

商工会は「ソーシャルビジネス支援ネットワーク」かわにし(※)の一員でもあるので、今後も市や各関係機関と連携し、起業したい人の受け皿として、サポートを続けていきたいですね。(※6・7ページ参照)

センパイ起業家の“ホンネ”①

# 家庭と仕事のバランス一番大切にしています

「Drawer Style」ライフオーガナイザー 中村 佳子 さん  
ホームページ <http://drawer-style.com/>

**「家」**事も子育てもしながら、自分の好きなことを仕事にしたい。それをかなえる方法が起業でした。市内在住の起業家、中村佳子さん。片付けのプロである「ライフオーガナイザー」としてフリーランス(個人事業主)で活動し、今年で5年目を迎えます。

「もともと片付けが好きだったわけではないんです。きっかけは、長男が生まれたこと。子どもは何でも口に入れるので、整理整頓しないと危ないですよ。それで片付けをするうちに、興味を持つようになったんです」

次男の誕生後、ライフオーガナイザーの資格を取得。雑誌の収納コンテストでグランプリを受賞したことも後押しし、起業したそうです。「やりたいこと全てを欲張るためには、起業しかなかったんだと、今では思います。主に自宅で仕事をしているので、公私の境目が明確になく、大変なときもありますね。でも、裏を返せば、家族に歩調を合わせて、仕事の量や時間を調整できるということ。フリーランスのメリットだと思います」

家族間の意識も変わったと中村さんは話します。「起業の話をしたときは、夫も戸惑っているようでした。しかし、仕事が軌道に乗るにつれて、安心したのか、応援してくれるようになったんです。今では、家事もしてくれずし、私も仕事を始めたことで、稼ぐことの大変さや分るようになりました。お互いをいたわる気持ちが強くなったと思います。収納は、すっきりきれいに片付けることが重要ではなく、その人にとって居心地のいい空間を作ることが大切です。それぞれのライフスタイルに寄り添った仕事を、今後も続けていきたいですね」



## 人生のできごと

The Outline of Her Story

- 35歳** 川西女性起業塾で先輩起業家としてアンバサダーを務めるなど、精力的に活動中。
- 33歳** 電子書籍を出版。ダウンロードランキングで1位を獲得。
- 30歳** ライフオーガナイザーの資格を取得。雑誌の収納コンテストでグランプリを受賞。本格的に起業する。
- 29歳** 次男が誕生。何か始めたいと思い、専業主婦をしながら、資格取得をめざす。
- 25歳** 長男の出産を機に民間企業を退職。片付けの魅力に気付く。

一日のタイムスケジュール

5:00	起床。家族が起きるまで仕事をする
7:00	朝食などの準備を始める
8:00	子どもを見送ると一緒に外出し、外での仕事へ
16:00	幼稚園のお迎えに合わせ帰宅
19:00	家族で夕食
21:00	子どもを寝かせた後、家事や仕事
23:00	就寝

Interview  
**起業のアレコレ包み隠さず伝えます**  
市商工会 石原 敦さん

起業のことで、商工会へ相談に来る女性は最近、増えていますね。起業に積極的で、スピード感がある人が多いように感じています。

相談業務の他、年に3回、起業支援セミナーを開催しているんです。その参加者の半数以上が、女性であることも珍しくありません。

商工会のセミナーの特徴は、起業に向けた具体的な道筋をお伝えするという点。会社を立ち上げる心構えや法的な知識などを、しっかりとお話しするようにしています。

セミナーの受講者で、実際に起業する人は1/2程度。また、起業し

はじめの一步。自分らしく踏み出すために

# 働きたいをカタチにする方法

市では、これまで培ってきた経験を生かし、もう一度就職したい人への支援を充実。それぞれのライフスタイルに合わせて無理なく仕事ができる、新しい取り組みもスタートします。

## 生活リズムに合わせた仕事をみつけるために

「あんばい ええまち かわにし創生人口ビジョン・総合戦略」のアンケート調査によると、市内の20代で無職・専業主婦の女性の割合は15.1%。しかし、30代では46.7%で、約半数が就業していないという結果が出ています。

今年9月、国は「働き方改革実現推進室」を設置しました。誰もが働きやすい環境を実現するため、多様な働き方を推進する機運は高まっています。

市では、それぞれのニーズに合わせた働き方をサポートできるように、各専門機関と連携しながら、就職や起業する人を応援する取り組みを展開

## ネットワークで社会的起業を支援

起業を包括的に支援するために作られた「ソーシャルビジネス支援ネットワークかわにし」。市と市商工会、NPO法人「市民事務局かわにし」、日本政策金融公庫の4者がタッグを組むことで、それぞれの強みを生かしたサポートが可能に。社会的起業やNPO法人の設立、経営上の課題などへの手助けをしています。

## 就職への不安を解決 まずは相談してみる

就職へのハードルを感じている人に向けたサポートもあります。「川西しごと・サポートセ

## 自分を、人を、仕事で笑顔にするために――

川西女性起業塾で参加者をサポートする先輩起業家の皆さん

ンター」では、パートタイム、フルタイムの求人情報を幅広く取得できます。

また、同センター内にある「若者キャリアサポート川西」では、40歳未満の若年求職者を対象に継続的な就労支援を実施。専門家による切れ目のないサポートとして、企業への提出書類の添削指導や面接対策、就職決定後のフォローなどをしています。

## 家庭と仕事を両立する新しいサポート

生活スタイルの変化に合わせて、就業の形も多様になっています。その一つが、「在

宅就業促進支援事業」。市が始める、新しい取り組みです。特徴は、インターネットを用いることで、時間や場所の制約を受けることなく、柔軟に働けること。空いた時間を利用し、無理なく在宅で仕事ができます（詳しくは広報かわにし12月号に掲載予定）。ライフスタイルや将来への展望は、人によって異なるもの。まずは紹介した取り組みや専門の機関を利用することから始めてみませんか。「働きたい」をカタチにするために。あなたに合わせた方法で、はじめの一步を踏み出してください。



ソーシャルビジネス支援ネットワークかわにし

## 専門機関と起業支援の取り組み

市商工会 ☎(759) 8222

起業・経営全般に関する相談や、講習会を開催。

【起業支援セミナー】

日時は 10月7日(金)・14日(金)・21日(金)・27日(木)・28日(金)の全5回。定員は先着10人。次回の29年1月開催分は、女性限定で、定員を20人に拡大して行います。申し込み方法など、詳しくは市商工会へ。

市民事務局かわにし ☎(759) 1826

パレットかわにしを拠点に、社会的起業やNPO法人の設立・運営に関する相談と支援、情報提供を実施。

日本政策金融公庫 ☎078(341)5135

起業に向けた、融資の相談や申し込みを受け付け。女性起業家や若者を対象にした、資金の融資などさまざまな支援を展開。

## 一人ひとりの声を聞き「働きたい」の実現を支援

産業振興課長 人見 巖

少子高齢化が進み、人口減少社会を迎える中で、女性の力を大いに発揮してもらうため、国をあげて「すべての女性が輝く社会の実現」に向けた取り組みが進められています。

市としましても、「キャリアカウンセリング」を通して、さまざまな制約の中で「どうしたら新しい一歩が踏み出せるのか」と悩んでいる女性の声を聞き、何か力になれることはないかと今年度から女性の就労・起業を支援する新規事業に取り組み始めました。

その結果、今まで点と点だった女性の「働きたい」を形にするための支援や個々の想いが、線となり、面となり、紙面で紹介した支援体制として、市内で根付き始めています。この支援体制の特徴は、各支援機関の強みを活かした包括的な

支援によって、一人ひとりに寄り添ったサポートができるようになったこと。そして、その体制の中に心強い味方がたくさんいることです。

例えば、「こんなことをしたい」「何かしたいけど何から始めたらよいか分からない」といった思いに共感してくれる人や、一人で乗り越えるには困難な、あらゆる局面をサポートしてくれる人、自分と同じ悩みを抱えている女性の力になりたいと協力してくれる人がいます。

このようなあたたかい支援体制が整っているからこそ、安心して、それぞれが望む方法やペース、スケールで新しいチャレンジができると考えています。どんなに小さなことでも、ひとりでも多くの女性が自分の「働きたい」を実現できるよう、関係機関とともに応援していきます。



相談窓口

## キャリアカウンセリングや就労体験など求職者向けのメニューを展開 就職に向けてここからスタート

川西しごと・サポートセンター ☎(757) 6380

職業相談や職業紹介の他、パソコンで求人検索も可能。利用方法など、詳しくは同センターへ電話か、市ホームページ（ID番号 K1191 でサイト内検索）へ。

日時 平日午前9時―午後5時

場所 パレットかわにし2階

【キャリアカウンセリング】

履歴書や職務経歴書の添削、面接指導、適職診断など、専門カウンセラーが相談に応じます。産業振興課☎(740) 1162へ予約してください。

日時 第1～4月曜日午後1時―4時50分(各回50分)

【労働相談】

働く前に知っておきたい労働条件など、法規定に関する疑問や悩みに、社会保険労務士がお答えします。産業振興課☎(740) 1162へ予約してください。

日時 第2・4水曜日午前9時半―11時20分(各回20分)

若者キャリアサポート川西 ☎(764) 6823

対象はパートタイム希望者含む、おおむね40歳未満の若年求職者。

「川西しごと・サポートセンター」に併設しており、同センターと連携しながら、専門相談員が就職をサポートします。キャリアカウンセリングや労働・生活相談も実施。相談は予約優先。事前に電話で予約をしてください。

就労体験プログラム ☎(756) 1350

1～4週間の就労を体験することで、“就職への一歩”を踏み出すプログラムです。市民で39歳までの未就業者が対象。

体験先は、川西市と近隣の企業や店舗で、さまざまな業種・職種から体験先を選ぶことができます。詳しくは同プログラム事務局に電話か、市ホームページ（ID番号 K20264 でサイト内検索）へ。